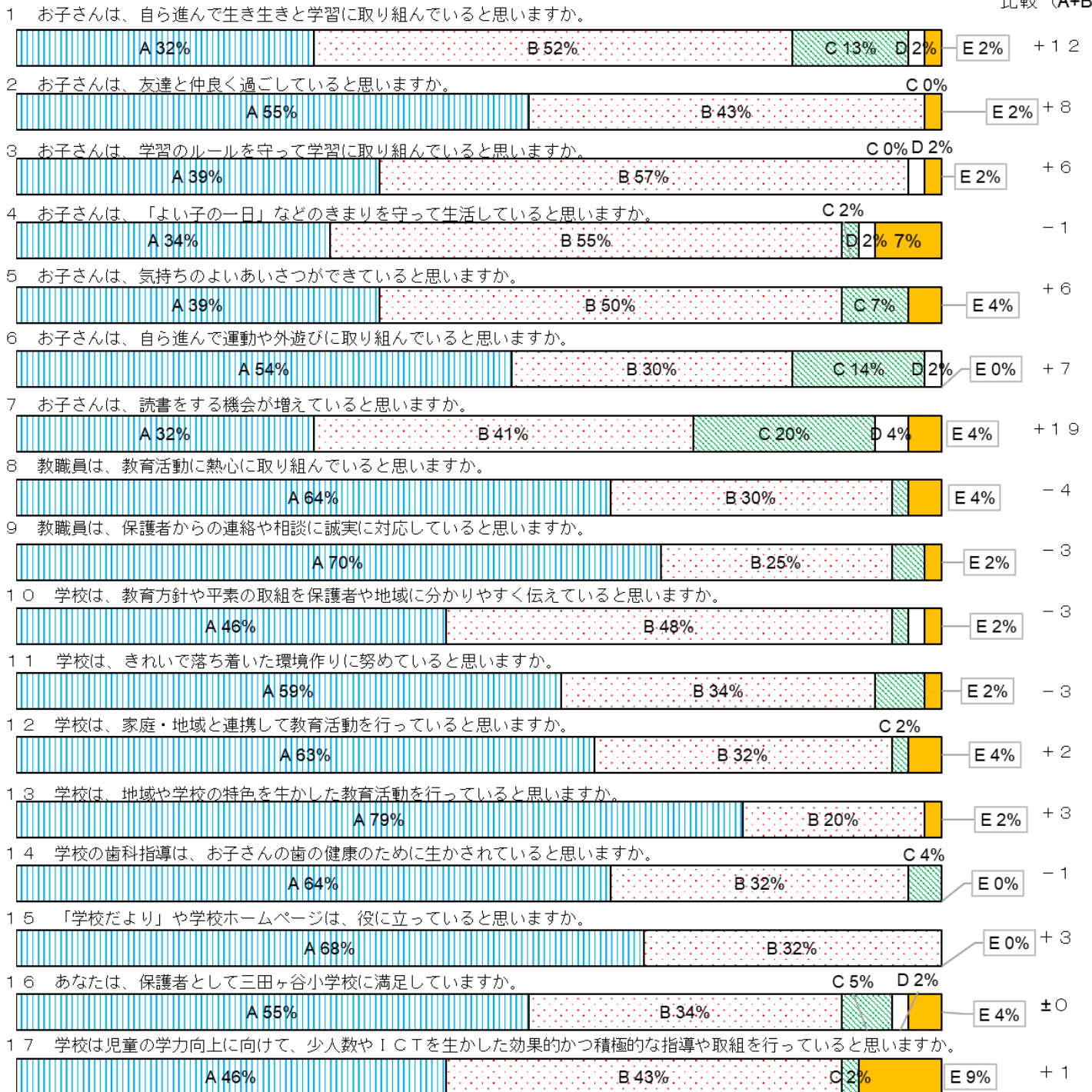


令和5年度 羽生市立三田ヶ谷小学校保護者アンケート結果

A: あてはまる B: どちらかといえばあてはまる
C: どちらかといえばあてはまらない D: あてはまらない

昨年同時期の
比較 (A+B)



自由記述欄の御意見や御要望について、コメントします。(作成上、文末や言い回しなどを変えているものもあります。)

まず、「学年だより」についての御要望です。

○行事の様子は学校だよりやホームページでわかるのですが、生活面や課題点などが知りたいので、学年だよりを復活させてほしいです。

本年度より学年だよりを廃止しました。理由は、学校だよりの内容と重なる内容もあるため、ホームページを毎日更新し、児童の様子をお知らせしているため、教職員の働き方改革の推進が急務であるためです。各クラスの生活面や課題点については、担任との日々のやりとり、児童との家庭でのやりとり、保護者面談、授業参観等で御確認をお願いします。

次に、「外国語の授業における ALT の指導」についての御意見です。

○ALT の先生が変わり、学習内容が復習ばかりで進まない、先生が早口すぎて理解できないと聞いています。

本校の外国語の授業は、学習指導要領に基づき、年間指導計画に沿って、計画的に進めています。ALT はあくまで授業のアシスタントであり、学習内容は授業担当者が責任をもって計画・実践しています。計画・実践している授業では、1時間ごとのねらいを達成するため、児童の実態に合わせてながら、教科書、ワークシート、教材等を活用しています。また、外国語の習得という特性上、繰り返しの学習が重要であり、学習内容の定着のために、復習の内容も扱っています。なお、ALT の話すスピードについては、児童の実態に合わせて、対応していきたいと思っています。

次に、「教員の働き方」についての御意見です。

○人数が少ない割には、先生や時間に余裕がないように思えます。

三田ヶ谷小学校には、教職員定数に基づき、児童数に応じた教職員が適正に配置されています。その状況を踏まえ、日々の教育活動を適切に進めていますが、教職員に余裕がないように感じられているのであれば、今後さらに、教職員の働き方改革を推進する必要があると受け止めます。働き方改革が一層進むような職場環境を構築し、人数が少ない児童に向き合う時間がより一層増えるようにするとともに、児童にも時間的な余裕が生まれるような日課を検討します。

次に、「体力向上や外遊び」についての御意見、御要望です。

○学力向上だけでなく、体力向上に向けて効果的かつ積極的な指導や取組を行ってほしいです。(朝マラソンもなくなり、いずれバス通学になってしまうため。)
○休み時間は室内で遊びたいと、子供が家で話しています。

体力向上について、今後の状況を見通し、心配されていると受け止めます。一方で、今年度から朝マラソンを廃止していますが、これは、国で定められている学習指導要領の体育には、長距離走は授業で実施すべき内容には含まれていないためです。また、休み時間については、児童自身がどう過ごすかを考える貴重な場面であると考えています。体力向上については、体育の授業で実施すべき内容を確実に取り組んでいきたいと思っています。

次に、「読書」についての御意見です。

- 学校では読書をしていると言っていますが、家庭ではほとんどしていないので、C 評価にしました。
- 本を読んでいる時間がないと先生もおっしゃっていました。

読書については、学校全体で読書の推進に係る取組を進めていますが、実際には、学校で読書をする時間を確保することは難しい状況です。今後も、読書の良さを伝えるための活動を進めていきます。

また、保護者の皆様から学校の指導に関して、感謝の言葉をいただきました。

- 少人数のため、よく見ていただいていると思いますし、いろいろな体験をさせていただいています。
- 先生方の熱心な指導に感謝します。
- ホームページ、いつも楽しみに拝見しております。ありがとうございます。
- 毎日、子供のことで悩むことが多く、担任の先生には申し訳ないくらい相談したり、子供に細かいサポートや配慮をしていただいたり、とても柔軟に対応してくださり、ありがたいです。
- 担任の先生が達筆で、子供の漢字練習を細かく見てくださり、少しずつ字を綺麗に書くことに意識が向くようになり、マスや行内に字が入るようになり、小さなことをコツコツする大切さを親子で学びました。
- 学校に元気で楽しく通えていて、担任の先生をはじめ、チーム三田ヶ谷小学校で、たくさんの先生が子供をサポートしてくださり、勉強面・生活面・精神面で大きく成長しました。ありがとうございます。
- いつもありがとうございます。

保護者の皆様からの貴重な御意見・御要望・感謝の言葉、ありがとうございます。私たち教職員は、一つ一つを真摯に受け止め、再編成を踏まえた子供たちの未来を育てるため、今後も、教育活動を進めていきます。

令和5年11月28日(火)
羽生市立三田ヶ谷小学校
校長 高野 達